

# 長南町都市計画マスタープラン (一部修正)

平成18年3月  
長南町

# 『環境共生のまちぐるみ博物館 長南』

～人と自然が協奏するエコ・ミュージアムづくり～



長南町は、緑豊かな恵まれた自然環境の中、今までにいろいろな面から町民主体のまちづくりの推進を図ってまいりました。

21世紀に入り、圏央道の実現もいよいよ間近となつてきており、長南町を取り巻く環境も活発化の様相を呈してきております。

このような中、平成2年度に策定した、長南町都市マスタープラン「長南 愛タウン構想」を見直し、新しい時代に添った都市づくりを進めるため、平成12年・13年度と2カ年にわたり検討をしてまいりました。

この『長南町都市計画マスタープラン』は、『長南町第3次総合計画』(平成12年度策定)において、平成22年を目標に掲げられている町の将来都市像、『大地の恵みや歴史に抱かれ新時代を先駆けるまち 長南』を具現化するため、土地利用、都市基盤整備など都市整備分野における基本的な方向性や方針について明らかにしたものです。

これからのまちづくりは、自らの地域は自らの手で育てていくという意識のもと、町民と行政が協働して創り上げていく「協働型の街づくり」がより一層重要となってまいります。言うなれば「対話と協調」の推進が求められるべきものであると思います。

今後、この都市計画マスタープランを地域や地区におけるまちづくりの指針として活用していただくと共に、町行政といたしましても、皆様と一緒に全力で取り組んで参りますので、なお一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、この方針づくりにあたりまして、建設的なご意見、ご提案をお寄せいただきました関係各位の皆様にご心から厚くお礼申し上げます。

平成18年2月一部修正

長南町長 藤見昌弘

# 長南町都市計画マスタープラン

～目次～

『環境共生のまちぐるみ博物館 長南』

一部修正版

## 【全体構想編】

1広域からみた長南町	1
2これからの社会動向	2
3長南町の現状	3
4まちづくりの課題	4
5まちづくりの基本的方向性	6
5-1 長南町第3次総合計画におけるまちづくりのテーマ	6
5-2 長南町都市計画マスタープランにおける都市づくりのテーマ	6
5-3 まちづくりの基本理念	7
5-4 将来の数値目標	11
5-5 将来都市構造	12
6部門別のまちづくり方針	16
6-1 土地利用の基本的考え方	16
6-2 交通体系整備の基本的考え方	19
6-3 公園緑地整備の基本的考え方	21
6-4 汚水処理に関する基本的考え方	23
6-5 住環境・自然環境の保全・形成に関する基本的考え方	24
全体構想図	27

## 【地域別構想編】

地域別構想策定対象位置図	29
1北部地域	31
1-1地域の将来像	31
1-2拠点地区別まちづくり方針	32
(1) 長南地区	32
(2) 圏央道インターチェンジ周辺地区	43
(3) 坂本・豊原地区宅地等開発, ヒメハルニュータウン地区	46
(4) 太鼓森公園	49
2南部地域	50
2-1地域の将来像	50

2-2拠点地区別まちづくり方針-----	50
(1) 長南工業団地-----	50
(2) (仮称)長南西部工業団地-----	52
(3) 熊野の清水公園-----	55
(4) 笠森・野見金公園-----	55
(5) 山内ダム及びその他中山間地域-----	57
3中央部田園空間軸地域-----	61
3-1地域の将来像-----	61
3-2拠点地区別まちづくり方針-----	61
(1) 埴生川流域里地地域-----	61
(2) 能満寺古墳公園-----	66
土地利用方針図-----	67
<b>【まちづくりの推進方策】-----</b>	<b>69</b>
<b>資 料</b>	
長南町都市計画マスタープラン策定の経緯-----	73
用語解説-----	75

## 【全体構想編】

全体構想は、広域的な条件整理や、長南町全体の現状、社会全般の動向などの整理を通じて、町のもつ問題点、課題を明らかにするとともに、まちづくりの基本的な方向性を示すものである。

ここでは、都市全体に関わる、まちづくりの基本理念、人口などの数値的目標、町の骨格的な構造についての考え方を整理するとともに、土地利用、交通体系、公園緑地の整備や自然環境の保全・活用など、都市全体に関わる基本方針を立案する。